

# 漁海況情報第10報 (2016年1月20日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

本県沿岸から沖合海域の表面及び100m水温は10～11℃台となっており、平年並みとなっています。5℃を指標とする親潮系冷水は波及していません。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温、100m深水温とも、10～11℃台となっており、平年並みとなっています。5℃を指標とする親潮系冷水は本県海域には波及していません [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

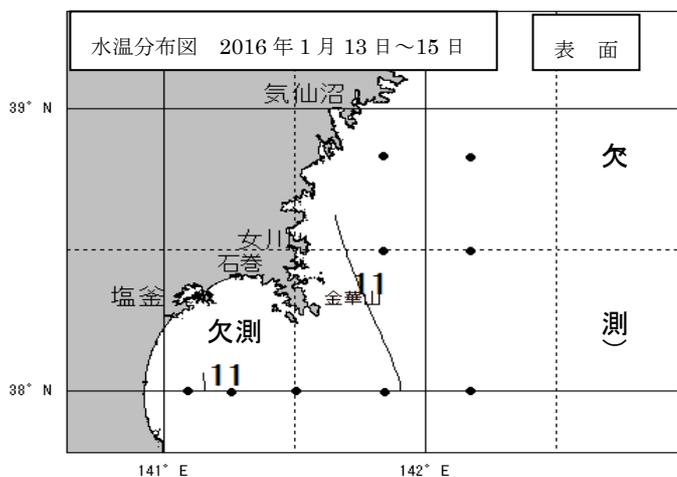
水温鉛直断面図をみると、各ラインとも表層が冷やされて鉛直混合が進み、表層から150m深まで10℃台の水温が一様に分布しています [P2.水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、親潮第一分枝の先端は津軽海峡沖にあり、三陸沖暖水塊の西側を南下しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

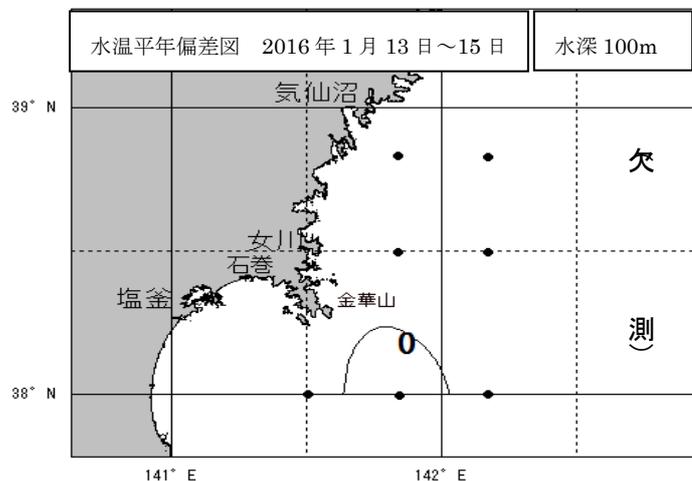
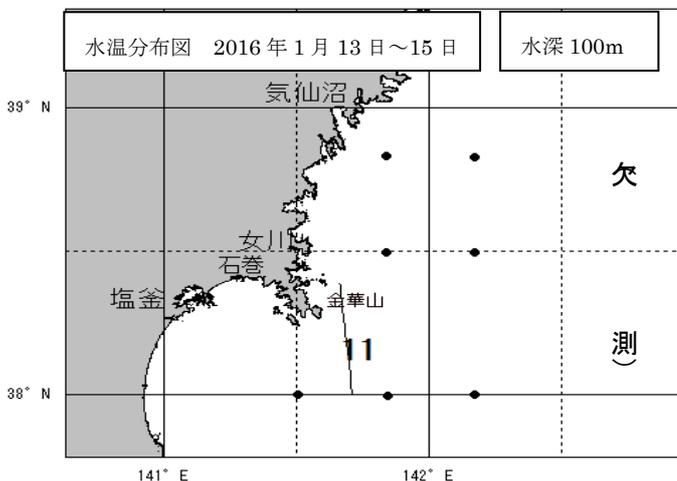
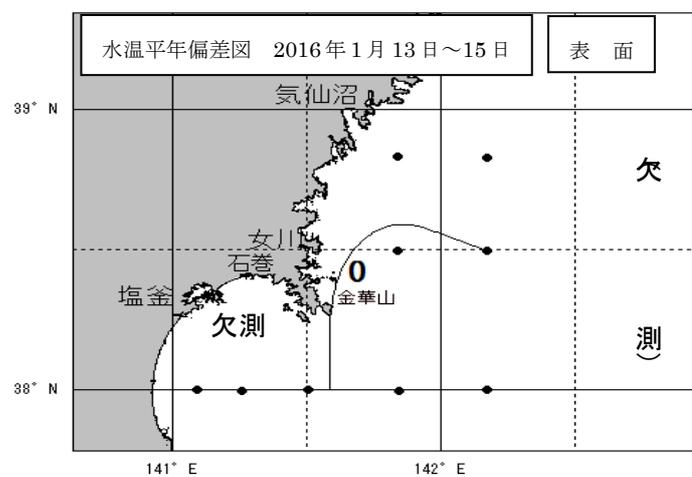
12月上旬の定地水温は6～11℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)、佐須浜で「やや高め」、江島で「平年並」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、8～11℃台となっており、前年よりも高めとなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図



・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

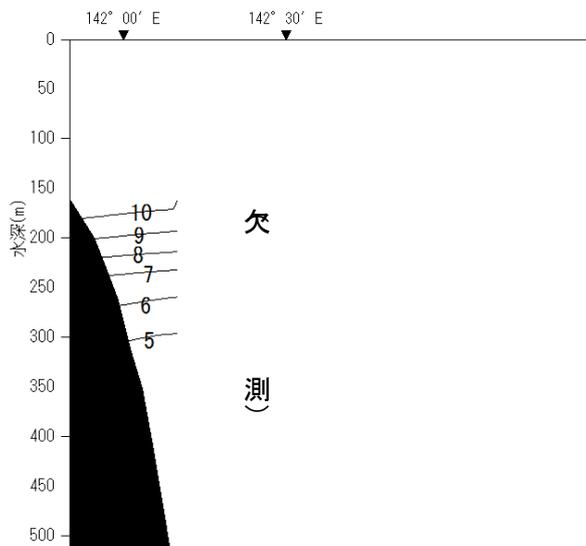


※ 浅海定線の全調査点、沿岸定線の St3, St4, St8, St9, St16, St17 は荒天のため、欠測となりました。

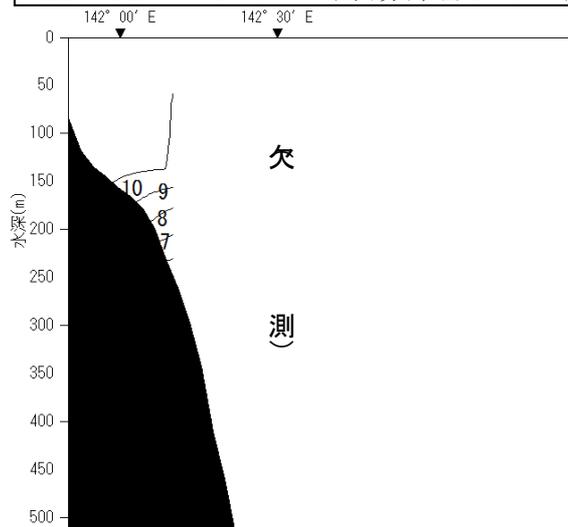
※ 観測はみよしおが実施しました。

・水温鉛直断面図

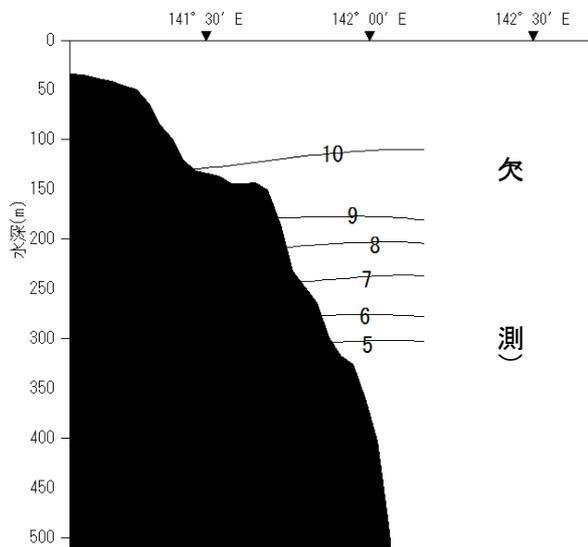
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

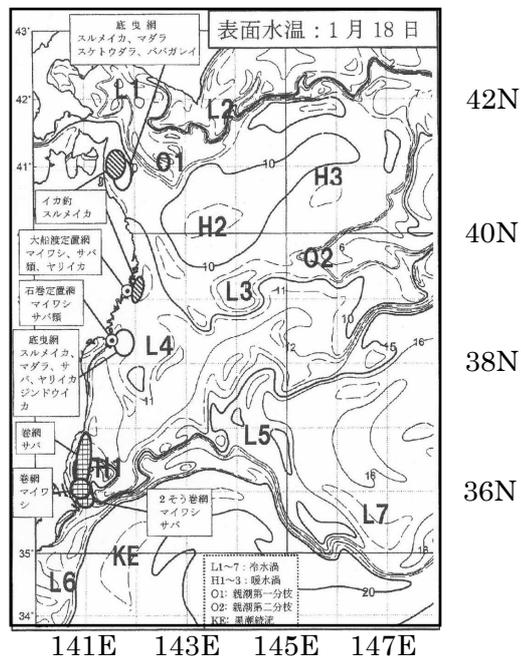


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2016年1月18日の東北海道の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター

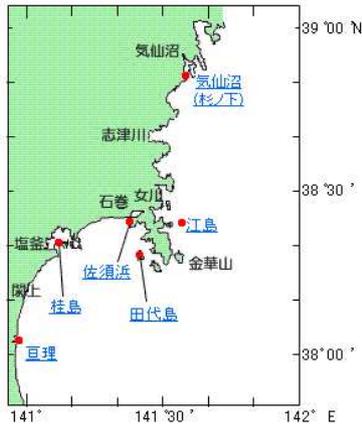


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

(1月18日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1) は三陸沖暖水渦(H2)の西側を南下。
- ・第二分枝 (O2) は八戸沖暖水渦(H3)の南側を西進、三陸沖 142° 30' E 付近で第一分枝と合流。
- ・黒潮は (KE、19~21°C台) は犬吠崎南東 25 海里を北東へ進み、13~16°C台の暖水が茨城沖 141° E 付近を北上し、日立沖で暖水渦(H1)を形成。
- ・沿岸では下北~久慈に 8~9°C台の冷水が分布。黒崎~女川に 10°C台、金華山~鹿島に 11~12°C台の混合水が分布。

## ・ 定地海洋観測



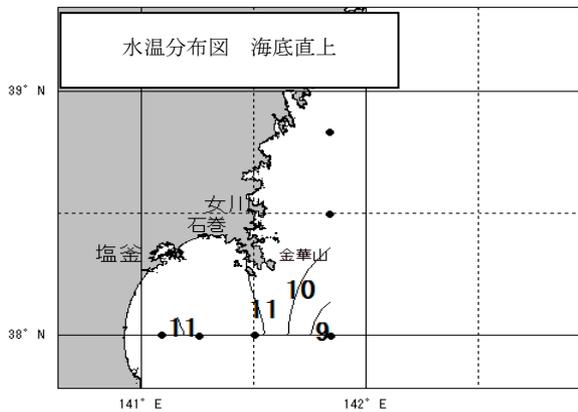
観測点	1月上旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	10.2 °C	平年並み	0.6 °C
江島	11.6 °C	やや高め	0.7 °C
佐須浜	9.5 °C	やや高め	1.4 °C
桂島	6.4 °C	-	-
亶理	9.2 °C	-	-

※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。  
 ※平年差：気仙沼(杉ノ下), 江島 (30年), 佐須浜 (10年)  
 桂島 (平成24年3月から観測開始)  
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

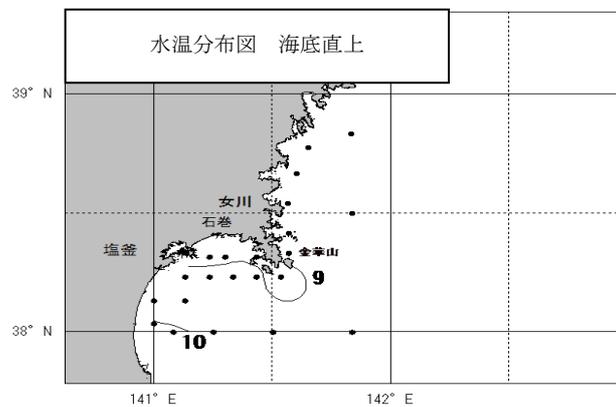
※定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp/> でも公開中です。

## ・ 海底直上水温図

・ 海底直上水温(2016年1月13日～15日)

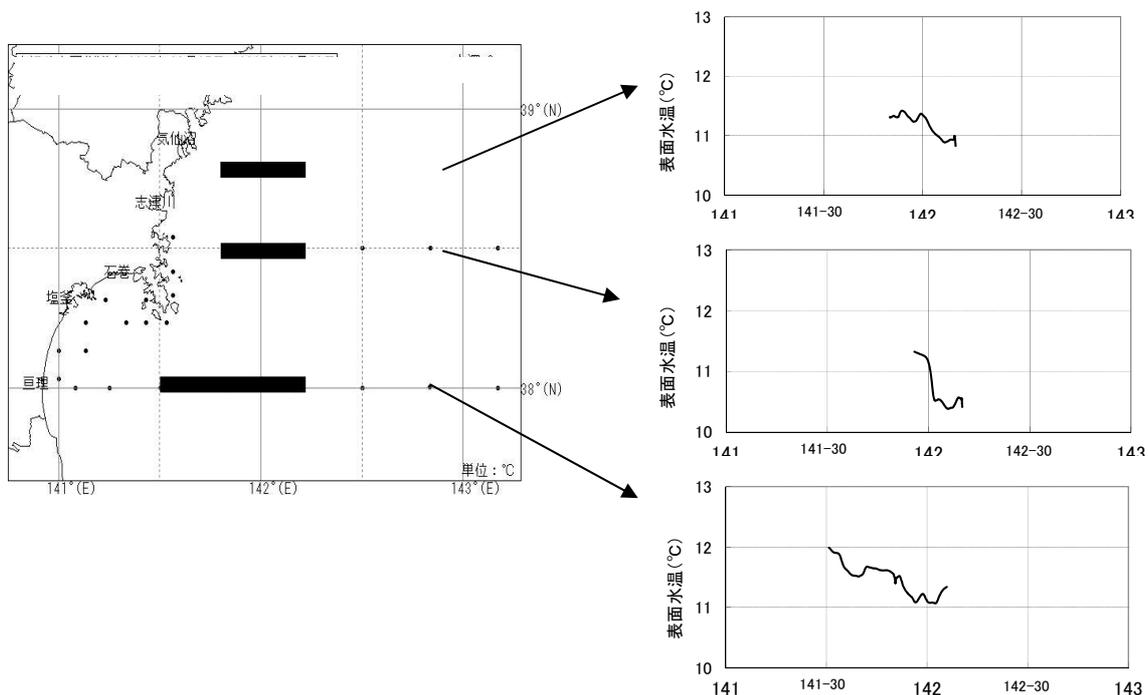


・ 海底直上水温(2015年1月8日～15日)



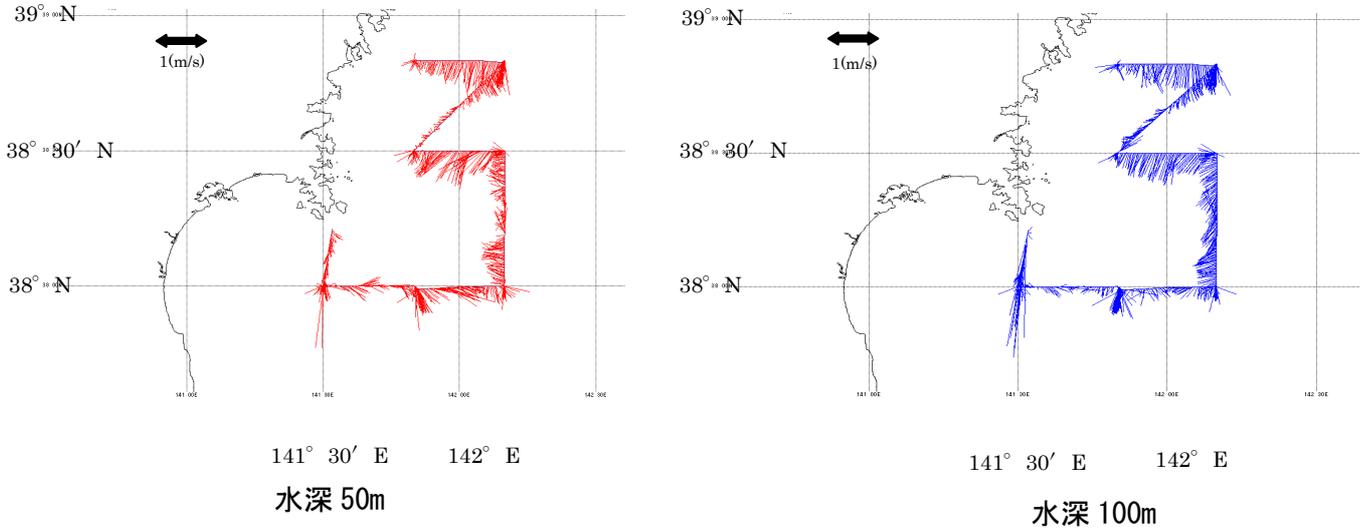
## 2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



### 3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。50m,100m 深とも概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

### 4. 漁況

平成 27 年 12 月の県内魚市場における主要魚種の水揚量は以下のとおりです。特にブリは前年比約 10 倍増、マイワシは 2 倍増となっています。一方、メバチは前年比約 30%、シロサケは前年比約 40%となっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成27年12月1日~12月31日)

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
ピンナガ									376	14	390	71%
クロマグロ(メジ含む)						0			1	7	8	92%
メバチマグロ(ダルマ含む)									66	3	69	29%
マイワシ	0	0	228			4,348	0			19	4,594	221%
カタクチイワシ						273				6	279	111%
サバ類	147	1	13,580			65	1			20	13,814	188%
サンマ											0	0%
ブリ	1	0	1,324			56	1			3	1,385	1025%
マアジ	0	1	0			30	0			0	31	411%
サウラ	0	0				4	0			0	4	24%
スルメイカ	839	1				16	0	4		2	862	104%
ヤリイカ	121	11				8	0	10		2	153	37%
マダラ	365	3				2	3		11	310	695	71%
スケトウダラ	152	1				0	1		0	7	161	147%
キチジ	2									1	3	173%
ヒラメ	28	6				6	6			4	50	74%
マコガレイ	19	32				1	4			4	59	219%
マガレイ		6					0			0	7	22%
サメガレイ	1									0	1	170%
ハバガレイ	5	1				0	1			9	16	86%
シロサケ	0					104	2			26	132	38%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)  
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

### 5. 調査船運航計画

みやしお	
1 月 26 日 ~ 1 月 27 日	コウナゴ稚仔魚調査

開 洋	
1 月 26 日	マコガレイ産卵場調査
1 月 27 日 ~ 1 月 28 日	刺網調査